

## 平成29年度地方独立行政法人東京都立産業技術センターの業務実績に係る 評価委員会の意見について（案）

平成29年度における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの業務の状況は、「業務全体が優れた進捗状況」とであると認められる。評価の決定に際しては、次の点について留意されたい。

### 1. 製品化事例について

・先端材料開発セクターや複合素材セクター等の様々な支援事業で、実用的な製品化事例や独自性の高い事例が多く認められ、製品開発支援の成果として評価できる。

### 2. 3Dものづくりセクターについて

・3Dものづくり技術の進展によって、ものづくりの概念が大きく進化している。都産技研では、新たにセラミックAM技術支援に向けた基礎技術の確立に取り組むなど、今後のニーズの増加を予見した対応が認められ、高く評価すべきである。

### 3. ロボット産業活性化事業について

・案内ロボットの実証実験が進む等、実用化へ向けた取組が多く認められる。サービスロボットを社会実装するには様々な課題があるが、今後、社会的ニーズに合った特徴あるロボットやIoTとの連携による更なる機能を提供するロボット等の開発を支援してほしい。

### 4. 依頼試験・機器利用サービスについて

・実証試験セクターや複合素材開発セクターでは、依頼試験・機器利用の合計実績が前年度よりも大きく増加している。なお、依頼試験等については単なる利用件数の増加を図るだけでなく、増加した要因や利用企業の属性を分析する等、今後の事業運営に活用することが重要である。

また、第三期中期目標及び中期計画の達成に向けては、法人が次の取組を推進することを期待する。

・「環境・エネルギー」、「安全・安心」等の技術分野で研究開発を推進し、研究

## 資料 4

成果が製品化・事業化につながることを期待する。また、平成29年度から開始した「中小企業のI o T化支援事業」ではI o Tの活用が様々な分野に波及することから、今後、更に注力してほしい。

・中小企業の更なる発展のため、都産技研は将来のニーズを先取りし、必要な技術開発や人材育成を先行して進め、中小企業をリードしてほしい。